

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		財産管理事務費 [東大和市財産価格審議会事務]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業番号	3			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	総務管財		課		用地管財		係	課長名	宮田 智雄		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)	122		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	公共用地等の取得、処分、交換、賃貸借の対価				議案件数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]適正に評定する。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
→				申可決議案件数/議案件数×100							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①議案書の作成 ②審議会開催 ③議案の付議 ④審議結果を市長に報告				審議会開催回数							
→											
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	件	2	3	2					
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0					
	目 標	②の目標値	%	100	100	100					
		目標値設定の考え方 公有財産の手続きのため、遺漏のないよう事務処理を確実にするため。									
活動指標	③の数値	回	2	3	2						
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	0	0	0					
		特定財源	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000					
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	824,400	831,000	838,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和51 年度								
	(2) 環境の変化		特になし。								

事業名称	財産管理事務費 [東大和市財産価格審議会事務]			
担当部署・課長名	総務管財	課	用地管財	係 課長名 宮田 智雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 特になし。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 現状と同様に、今後も適正な処理を行っていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	特になし。			